

7/18
赤旗

「独裁許すな」 キリスト教 4団体声明

「安全保障関連法案（戦争法案）を成立させようとする政府与党の強引な姿勢に、キリスト教団体が次つぎと抗議の声をあげています。」
日本バプテスト連盟

理事会声明（15日）
「この歴史的暴挙を、私たちは決して許すことはできません。（法案は）撤回し、廃案にすべきです。安倍内閣は、独裁と独善に溺れる自らを反省し、速やかに退陣すべきです」

日本カトリック正義と平和協議会会長声明（15日）
「集団的自衛権の行使容認は憲法違反。この法案の成立は、立憲主義という国家の枠組みを破壊しま

す。立憲主義が破壊されたのちに残されるのは独裁的支配です」
日本キリスト改革派教会西部中会議長声明（13日）
「国家権能は立憲主義の原則に従って行使されなければなりません。集団的自衛権行使を認める安保関連法案は立憲主義を踏みにじるものです」

日本キリスト教協議会平和・核問題委員会委員長声明（6日）
「国会の会期を大幅に延長してでも強引に成立させることは、国民の大半がこの法案に反対しており日々その勢いも増すなか、それは民主主義の破壊であり、憤りを覚えます」